

「春は来る」

202304

どんなことがあっても、春は来る…。

私のスマホは今、野の花々で満杯…  
ガラケイからスマホに携帯電話を変えて一番良かったのは、映像機能を使って自前の花園を楽しめることかな？ 仕事の行き帰りに路端で撮りためた花々が

「ヨオ、元気にやってるかい？」

と、赤・青・黄色・白…色とりどりに声を上げて春を告げてくれています。と言っても、私は花の名前をほとんど知らない。

花に元気づけられて、この春から、今も撮影中の「奈緒ちゃん」シリーズ次回作の製作・上映支援プロジェクトを立ち上げることに決めたんだ。カンパを募り、映画を創り、上映に取り組もうという企画、図々しい奴だなあ、と思われる方もいるかもしれない…。そう思われても仕方ない。お金が無いのだから。お金が無いけど、創らなければ、と思い、決心したことだから。

「奈緒は長くは生きられない…」と医者に言われた…。姉が、私にとっては姪っ子の重いてんかんと知的障がい併せ持つ長女、奈緒ちゃんの「いのち」のことを話してくれたのは、もう40年以上前のこと。

その一言をキッカケに、撮影を始め、その映像は12年後の1995年に映画『奈緒ちゃん』として完成し、私の自主製作・自主上映の映画創りの原点となった。クランクインは1983年だったから、今年でもう41年目の撮影…。一作目の『奈緒ちゃん』から4本の映画を完成させて来た。

「長くは生きられない…」と言われた奈緒ちゃんが多くの方々の応援もあり、奇跡的に「いのち」を繋ぎ止め、生きながらえて来たように、その映画創りも今までは奇跡的に創り続けることが出来ただけけど…。

「製作・上映支援映画会」と名付けた上映会を開催し、「奈緒ちゃん」シリーズをはじめとする珠玉の(?)伊勢作品の数々を連続上映し、その場を使ってカンパを募る作戦。何とか一人でも多くの方に上映会に足を運んでほしい…と同時に、

我々の上映に呼応して、一箇所でも多くの場所で自主上映会を企画してほしいという思いなんだ。

何とか集客し、カンパを集めなければ、という私の切羽詰まったような様子を見て、主人公の「奈緒ちゃん」や「奈緒ちゃんのお母さん」も上映会のためのDMや配布資料作りの応援をしてくれている。

奈緒ちゃんは今年50歳になるんだ。次回作のタイトルは『大好き～奈緒ちゃんとお母さんの50年～』と決めた。気に入ってます。奈緒ちゃんはお母さんが大好き。お母さんは奈緒ちゃんが大好き、「大好き」という全肯定の在り方が気に入ってる。「いのち」を全肯定する物語なんだ…。

今年80歳になる姉、奈緒ちゃんのお母さんの心臓の病気のことに加え、私も昨年から病気を抱える身になったことが、奈緒ちゃんの生きた50年の歳月と相まって「いのち」のことを正面から受け止める映画創りに繋がっているのだと思う。

創らないわけにはいかないのだ…。

*障がいのある奈緒ちゃんは  
長くは生きられないと言われていました。  
その奈緒ちゃんが50歳になります。*

*家族に 地域に 生まれ  
家族を 地域を 育んだ歳月…*

*「いのち」を見守り続けた50年間におよぶ  
ヒューマンドキュメンタリーの誕生です。*

次回作、製作・上映支援の企画書に書いたメッセージ。完成は来年の春の予定だ。

一年後、路端の花々が再び私のスマホから春を告げてくれる頃に、新作『大好き～奈緒ちゃんとお母さんの50年～』が「いのち」の記憶を語りはじめる。

もう一度、春は来る…、きっと。

伊勢 真一

カントクのつぶさき

二〇二三年 四月